

定点観測法で

生活科の授業記録はバッチグー！

札幌市立桑園小学校

齊藤 振一郎

生活科の授業記録では、写真を使うことが多いと思います。そのような時、一人一人の子どもの活動を中心に、撮影していることが多いのではないのでしょうか。この方法には、

- ・一人一人の子どもの表情を見取りやすい
- ・特定の子どもの活動の様子が具体的にわかりやすい
- ・（特に1人の子どもを追跡した場合）その子どもの活動がどう変容したのかがわかりやすい

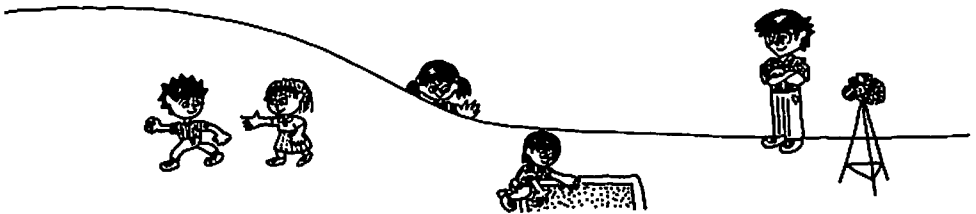
…といった長所があります。しかし逆に、

- ・子どもの活動の全体像がわかりにくい
- ・その場で子ども全体の活動の変化を見取りにくい

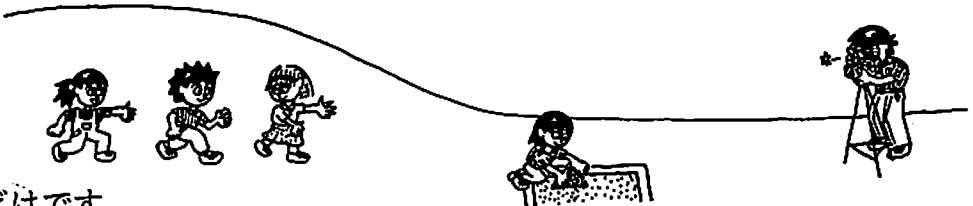
…という短所もあります。

定点観測法は、このような短所を補う授業記録の方法です。やり方は超カンタン。

- ①活動する場所の中で、できるだけ全体を見渡せる場所を選び、カメラを設置する



- ②5～10分おきに、カメラのシャッターを切る



これだけです。

こうやって撮影した写真を並べると、全体の活動がどのように流れていたのか、かなりはっきりと見えてきます。それにより、授業分析を加え、次の活動をどう構成するか具体的に検討することができます。